



校長室だより 2

黒部市立荻生小学校
文責：校長 寺島紀子
令和5年6月9日
5年度第9号



前号でもお知らせしていましたが、6日（火）から朝の「さわやかあいさつ運動」が始まっています。公民館や自治振興会、児童民生委員、PTA 役員等、たくさんの方々が校門付近に立ち、登校してくる子供たちに挨拶や声かけをしてくださっています。当番学年の子供たちも手旗やのぼり旗を振りながら、また計画委員会の子供たちは「ビッグハンド」を持って、



いつも以上に元気に声を出しています。とても気持ちよく、清々しく感じます。時間の終わりには、皆で向かい合って「ありがとうございました」の挨拶をして解散します。

こうした取組を通して一人一人の荻っ子は、挨拶を交わす心地よさや人とのつながりを感じていることと思います。お忙しい朝の時間帯に来校し運動に参加してくださっている皆様、ありがとうございます。

やはり、読み書きは大事です！

先日、2年教室の国語の時間を少しのぞいたときのこと。漢字練習の様子が大変素晴らしかったのです。各自が漢字ドリルを使って、

- ① 「読み」「例文」の音読3回
- ② 書き順の指書き（机に指をグッとつけ、画数を言いながら書く）
- ③ 大きい字を見て指書き
- ④ 目を閉じて指書き
- ⑤ なぞり書き、写し書き
- ⑥ そら書き これを10分間取り組み、先生に提出します。

まず最初に音読からスタートするのがいいですね。音読はいい加減では読み間違えるので、文（文章）にしっかり向き合う必要があります。続く指書きも「画数を言いながら」というのが、頭と目、指、口が関係して取り組むことになる効果的な学習です。こうして、漢字練習に「読む」の要素を組み合わせることで、子供たちは周りの子のことやちょっとした物音には見向きもせず、すっかり自分の学習に集中して漢字練習に取り組んでいました。10分間があっという間でした。



一方、1年生の深本先生からは、同じく国語科の学習で「『くちばし』の音読が上手になったので、ぜひ聞きに来てください」とお誘いを受けました。早速次の日におじゃましてみると、子供たちは「まる読み（ひとり1文ずつ読んでリレーしていく読み方）」で上手に読み継いでいました。声も大きく、どの子も自信満々の得意そうな読み方でした。家庭では「おんどくかあど」を使って家の人に聞いてもらいながら練習しているとのことなので、「それじゃあ、みんなで全部いっぺんに読んでみようか？」と聞くと「できる！読めるよ！」と全員で音読をしました。



一人1台タブレット端末が日常化した今日でも、やはり学習の基本は「読むこと」「書くこと」です。まずはすらすらと音読ができること、しっかり文字が書けることが、なにより子供自身の達成感とやる気を高めていくのだと思います。



★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想をお待ちしています。下に記入しご提出ください。

6/8(木)プール清掃を行いました

毎年恒例のプール清掃を、今年度は5・6年生と教職員とで行いました。プールの底や壁面に残る泥のような汚れを皆でこすり落とし、またシャワーや更衣室、トイレもきれいに水洗いしました。



こんなにきれいになりました！

シリーズ「教室におじゃまします」 6/8(木)4年理科の巻

時間の少し前から、皆いそいそと「電気のはたらき」の実験セットの箱を配り始めました。担当の霜野先生（教務主任）が前回のまとめとして、乾電池の向きを変えると電流の向きが変わることを押さえた後、「プロペラカーを前に進ませよう」という今日のめあてを確認しました。ノートを書き終わった子から、いよいよ工作開始です。

これまで少しずつバージョンアップしながら作ってきた各自の工作なので、ほとんどの子が慣れた様子で見当をつけながらプロペラカーを作っていきます。霜野先生は「プロペラが回るとき導線がじゃまにならないように考えて」「プロペラカーが前に進むとき、プロペラの向きはどっちにむけたらいい？」などと、必要に応じてヒントを与えながら子供たちを支援していました。

自分のプロペラカーが完成した子から多目的室に移動し、友達といっしょに思い思いに走らせます。上手く進まない子がいると、霜野先生が全体に問いかけて問題を解決できないか考えました。たとえば後ろ

に車が進んだ子の場合は、乾電池の＋と－を入れ替え電流の向きを逆にすることで、見事解決です。

「電池を2こにしたら電流が2倍になって、もっと速く走るかもしれない」という予想を受け、次の時間は乾電池2こ搭載のプロペラカーを作って実験することになりました。楽しみですね。



おまけの<ひとこと> 1年ぶりのプールの水は案の定、落ち葉や泥、虫の死骸（ヤゴがたくさんいました）で黒く濁っていました。子供たちは初めは慎重に、そのうち調子が出てきて思い切り、ブラシやたわし、スポンジでその汚れをこすり落としていきました。キャーキャーと叫んだり声をかけ合ったり、時には夢中になって物も言わずに作業したりと、大人（教員）も子供もいっしょになって「プールをきれいにする」という目的のために働いた、楽しい1時間半でした。きれいになったプールにはこれから新たに水を張り、来週後半にはプール開きの予定です。5・6年生にとっては格別な思いがするプール学習になることでしょう。

★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想をお待ちしています。下に記入しご提出ください。

校長室だより第9号への感想

年 児童名